

## 臨床研究: 気管横径とその分布と気管挿管カフの関係 - 診療録レビューによる後方視的研究 -

筑波大学附属病院麻酔科では、標題の臨床研究を実施しております。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

### ① 研究の目的

手術麻酔を全身麻酔で行う場合には、一般的に麻酔中は呼吸を自身で行うことができないため、気管チューブを口から気管に入れて人工呼吸器に接続し人工呼吸を行います。

一般的には成人では気管の太さは男性 19-20 mm 程度女性では 14-15 mm 程度で、内径 7-8 mm の気管チューブを用います。人工呼吸を効率的に行うため、気管と気管チューブの隙間からの空気の漏れを防ぐ必要があります。そのため、気管チューブ周囲にはカフ(風船)があり、それを膨らませることにより、隙間をふさぎます。しかしながら、稀に気管の太い患者様がおり、通常のチューブでは気管と気管チューブの隙間をふさぐことができず、特殊チューブを使用する必要がある患者様がいます。しかし、気管挿管に関しての気管径の分布と気管が太い患者様に対する気管挿管に関する研究は不十分です

そこで、全身麻酔で受けた方の気管の太さを手術前に撮影したレントゲン検査を詳細に調べること、日本人の気管径の分布と、気管径の大きい方の気管挿管情報を明らかにするため、今回の研究を企画しました。

この関係性が明らかになれば、適切な気管チューブの準備を事前にすることにより、気管挿管時のトラブルが減少し、麻酔の質の向上が期待されます。

### ② 研究対象者

2023 年 3 月から 2023 年 6 月に当院で全身麻酔を受けた 18 歳以上の方

### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2025 年 7 月 31 日まで

### ④ 情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：2023 年 11 月 1 日

提供開始予定日：該当なし

### ⑤ 研究の方法

今回、全身麻酔を受けた方々において、手術前の胸部レントゲン検査、気管挿管に使用したチューブの情報、気管挿管情報などを当院の電子カルテ、麻酔記録などから収集して検討します。

⑤ 試料・情報の項目

試料：なし

情報：診療録情報(年齢、身長、体重、診断、内服薬、血液検査データ、胸部レントゲン検査、胸部 CT 検査など)、麻酔記録情報(気管チューブのサイズ、種類、気管挿管の難易度、手術時間、麻酔時間など)

なお、この研究に必要な臨床情報はすべて上記のものより取り出しますので、改めてみなさまに行っていただくことはありません。

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

該当しません

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学 麻酔科 講師 中楯陽介

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

この研究へのご協力は、ご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又は FAX でご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院 麻酔科ステーション

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話番号(緊急連絡先)：029-853-3092 (平日 8:30～17:15)

029-853-3110 (上記以外の時間帯は、休日夜間受付から麻酔科当直医師)